

2013年8月13日

事業内容、事業の効果に関する写真

事業名：ザルカ県ハシミーヤ市における青少年のための「職業訓練センター」の設立・運営事業（フェーズ3）（ヨルダン・ハシェミット王国）

事業期間：2013年2月14日～2014年2月13日

報告期間：2013年2月14日～2013年6月30日

1) 職業訓練プログラム

ハシミーヤ市が管轄する The Modern Village を事業地として、フェーズ2に続き職業訓練センターを開校し、各種職業訓練プログラムを実施した。各ターム期間は以下の通り。

第1ターム：2013年3月10日～6月30日

【PCコース】

グラフィックデザイン、CCNAの2クラスからなるPCコースを開講し1ターム計2クラス実施した。参加者のレベルを測る事前テストを実施し、授業を開始した。



左：グラフィックデザインクラスの様子。コース修了にあたり製作した作品を発表する参加者。

右：グラフィックデザインクラスの様子。日本人スタッフ（現地統括久保）より、コース修了証が渡される。コースを修了するためには出席日数、テスト結果などの基準を満たさなくてはならない。



左：CCNA クラスの様子。相談しながら、ネットワークの仕組みを学ぶ参加者。

右：CCNA クラスの事後テストの様子。このテストの点数によって、コース修了できるか左右される。真剣にテストに望む参加者。

【機械修理コース】

携帯電話修理、PC / プリンター修理、ラップトップ修理及び中古バッテリー再生・太陽光発電クラスを1ターム計4クラス開講し、クラス修了が就業に優位になるよう支援した。



左：携帯電話修理クラスの様子。携帯電話の基板について、講師が参加者一人一人にきめ細かい指導を行った。

右：携帯電話修理クラスの様子。参加者は実際に携帯電話を分解して、内部構造を学んだ。



左：PC / プリンター修理クラスの様子。

右：PC / プリンター修理。初日に講師がPC修理の概要を説明し、参加者は熱心に耳を傾けた。



左：ラップトップ修理クラスの様子。参加者が講師の指導のもと、ラップトップ本体を分解して、各部品の配置を学んだ。

右：ラップトップ修理クラスの様子。参加者は内部構造を学ぶとともに、実際にラップトップを起動させて、その動作確認をモニター上でも学んだ。



左：中古バッテリー再生・太陽光発電クラスは各分野専門講師を招いて、中古バッテリー再生セッションおよび太陽光発電セッションを開講した。写真は太陽光発電セッションの様子。小型のパネルを手にとり、講師に質問する参加者。

右：太陽光発電セッションにて、大型のパネルを屋外に出して、その仕組みを学ぶ参加者。国家目標として、ヨルダンでは太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの更なる利用を掲げている。



左：中古バッテリー再生セッション、事前テストの様子。クラスが始まる前に、参加者がどの程度バッテリーの知識があるかを確認した。

右：中古バッテリー再生セッションの様子。講師はプロジェクターを活用しつつ、バッテリーに関して講義を行った。

【共通コース:コンピュータスキルコース】



左：ICDL クラスの様子。参加者に対して、丁寧に講師が各ソフトの使用方法について説明した。

右：タイピングクラスにて、実際にパソコンを使用しタイピングの練習をしている参加者たち。

【共通コース:英語コース】

参加者のレベルに沿って初級・中級・ビジネスレベルの3クラスを設置し、文法、会話、ライティング、リーディングを組み合わせ、実践的な能力の向上を目指した英語コースを開講した。



左：英語初級クラスの様子。講師はテキストブックに沿ってだけではなく、臨機応変に参加者の興味を引くような授業を行った。

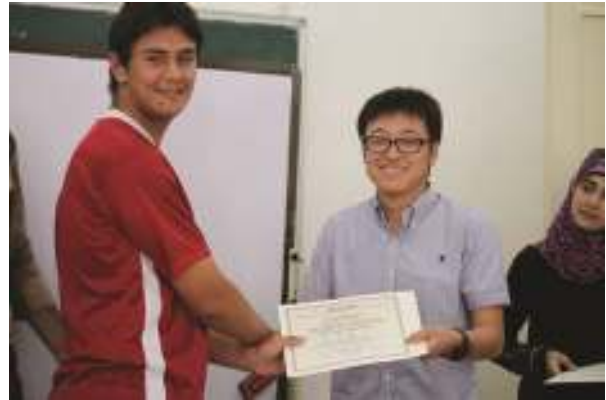
右：英語初級クラスの様子。参加者の多くは若く、講師の質問に活発に挙手して、発言し、授業は明るい雰囲気の中で行われた。



左：英語中級クラスの様子。講師の隣で授業の補助をする現地スタッフ（フィールドコーディネー

ター:Najwa)。クラス運営は現地スタッフに支えられている。

右：英語初級・中級クラス合同のプレゼンテーションの様子。快活な様子で他の参加者を前に発表をした。



左：英語ビジネスクラスの様子。ホワイトボードを使用して、ビジネスレターの説明を行った。ビジネスクラスでは、より就職活動の際に優位になりうる英語のスキルを教えた。

右：英語ビジネスクラスの様子。日本人スタッフ（現地統括：久保）より、コース修了証が渡された。

【OJT 研修】

職業訓練コースにおいて、意欲と能力の高い参加者を協力企業・団体に派遣し、コースで取得した技能を職場で実践する OJT を実施した。加えて、基礎的な事務処理能力の向上が必要な参加者には職業訓練センターにて OJT 研修を行った。



左：中古バッテリー再生・太陽光発電クラスに関連して、エネルギー、水資源及び環境問題について討議された国際会議 International Conference on Energy, Water and Environment が4月21日から23日にかけてハシミータ大学（ザルカ市）で開催された。インターン生は当日はブース説明員として、中古バッテリー再生事業とその他の職業訓練センターの事業の説明を行った。

右：コンピューター及び周辺機器のメンテナンス会社のOJTに参加したインターン生。彼はマネージャーから高い評価を受けた。

2) 就業支援プログラム

フェーズ2に続き、就業に有益な知識・技能、勤務姿勢を身に付けるため、各種就業支援プログラムを実施した。

【ソフトスキルワークショップ】



左：参加者が Soft skills セミナーを受講し、積極的に質疑応答やロールプレイを通して学んでいる様子。

右：参加者が就職活動において必要となる履歴書の作成方法や面接の受け方などの講義を受けている様子。

【会社訪問】

開講クラスに関連した業種において、業務内容や必要とされるスキル、適性等、仕事についての情報を提供する仕事内容説明セミナーを実施した。

【PC コース】



左：CCNA クラスの会社訪問の際の記念撮影。訪問先の CCNA トレーナーより、ネットワークの重要性に関して説明を受けた。(2013 年 5 月 9 日、JCE company)

右：グラフィックデザインクラスの印刷会社訪問の様子。参加者は実際の販促物を手にとりつつ、印刷会社での作業工程を学んだ。(2013 年 5 月 9 日、Red Points Printing Press)

【機械修理コース】



左：携帯修理クラスの携帯電話会社訪問の様子。参加者は実際の作業場を見学しながら、エンジニアより、細かな技術の説明を受けた。（2013年5月11日、NOKIA Company）

右：PC/プリンター修理クラスの会社訪問の様子。エンジニアのPC修理に関する説明を受けて、質問する参加者。（2013年5月13日、CSH company）



左：中古バッテリー再生・太陽光発電クラス参加者はアンマンの National Center for Research & Development Energy Research Program (NERC) を訪問した。太陽光発電部門長から、屋外に設置された太陽光パネルを前に事業の経緯と適用した技術について説明を受け、参加者は熱心に質問した。（2013年6月13日、National Center for Research & Development Energy Research Program）

【共通コース:コンピュータスキルコース】



左：ICDL クラスが仕事内容説明セミナーの一環としてザルカの Social security cooperation（社会保険事務所）を訪問した。事務所マネージャーより、Social security cooperation の被雇用者にとっての重要性について説明を受けた。（2013 年 5 月 9 日、Az Zarqa- Jordan- Social security cooperation ）

【共通コース:英語コース】



左：ビジネス英語クラスが仕事内容説明セミナーの一環として、英語を日常的に用いる翻訳会社を訪問した際の様子。経営者より、翻訳会社の業務、そして英語スキルの伸ばし方について説明を受けた。（2013 年 5 月 6 日、Al JurJani Company for Translation）



右：初級/中級英語クラスが車両レンタル会社を訪問した際の様子。実際に海外からの観光客の送迎にあたるドライバーより、英語を使用しての具体的な業務について説明を受けた。（2013 年 5 月 25 日、Amra Company for Renting Tourist Cars）

【女性支援プログラム】

ヨルダンでは宗教的及び伝統的背景から社会参加の機会に恵まれていない女性の社会的地位向上が課題になっている。当事業では女性の生計向上や社会生活における権利について講習を継続的に開催している。



左：キャンドル制作のセミナーの様子。キャンドル制作（2013年5月15日）に加えて、石鹼制作（2013年5月16日）、石鹼ラッピング（2013年5月20日）のセミナーを開催した。

右：母娘の相互理解を目的とするセミナー「Mother gathering」の様子。ソーシャルワーカーを招いて、女性参加者が社会人となっていく過程で母親と良い関係が構築することを目的としたグループセッションが行われた。（2013年5月27日）



左：商品開発、収入創出及び社会進出の体験談を語る南シューナ現地 NGO アルジャワースレのメンバー。参加者は商品開発及び収入創出活動を継続し社会進出に成功した現地 NGO のアルジャワースレに所属する女性たちと交流した。（2013年5月18日）

右：NGO アルジャワースレのメンバーの話を熱心に聴く参加者達。

3) 情操教育プログラム

【ストレスマネジメントプログラム】

ストレスに対処し、不安を解消する方法を学ぶ、ストレスマネジメントのワークショップを開講し、就業後も精神的に安定した生活を得られるようサポートを行った。



左：現地スタッフ（フィールドコーディネーター：Mohammad）の主導下で、本格的にセッションに入る前の準備として、身体を用いたゲームをする男性参加者グループ。

右：本格的にセッションに入る前の準備として、リアクション練習をする女性参加者グループ。



左：演劇発表会に向け、現地スタッフ（フィールドコーディネーター：Mohammad）の主導下で、参加者のアイデアを元に作成した台本の読み合わせを行った。

右：演劇発表会に向け、稽古をする女性参加者。



左：演劇発表会の本番が近づき、実際のステージでリハーサルを行う女性参加者。

右：現地スタッフ（フィールドコーディネーター: Mohammad）の主導のもと、実際のステージで段取りを確認し合う男性参加者。



左：NICCO ヨルダン事務所代表:工位より演劇発表会開催にあたり挨拶がなされた。

右：演劇発表会当日はヨルダン社会開発省、在ヨルダン日本大使館など、多くの招待客が訪れた。



左：学生から社会人へのステップアップにおいて、家族の問題やプレッシャーなどいろいろな問題に直面するが、最終的に自分に合った仕事を見つけることでそのような問題を解決していくストーリーの終盤を熱演する参加者たち。

右：演劇発表会リハーサルにて、職場でよく直面する上司の横柄さについて参加者が臨場感溢れる演技を披露した。

●日本人精神科医によるストレスマネジメントセミナー（2013年6月23日）



ストレスマネジメント関連の職務に従事するスタッフに対する、桑山専門家による心理社会的ケアセミナーの様子。